

X線TV 検査

◆X線TV 検査とは

放射線(X線)を使って体の中を『透視』で観察でき、撮影も行うことができます。また造影剤という薬剤を使って体の中の様々な状態を観察することができます。

身近な検査としては胃のバリウム検査がありますが、他にも様々な検査や治療で利用されています。

◆装置の紹介

当院では診断用に2台のX線TV装置が設置されています。



『Ultimax-i キヤノン社製』

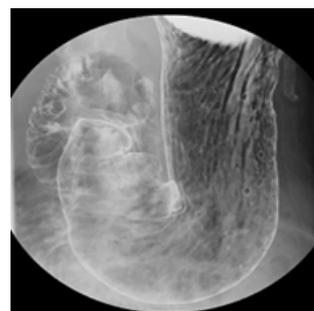


『ZEXIRA キヤノン社製』

◆検査の種類

上部消化管検査(胃バリウム検査)

バリウムと発泡剤を飲んで、食道、胃、十二指腸を観察する検査です。それぞれの形や粘膜の状態を観察し、潰瘍やポリープ、がん、憩室などの病気がないか調べることができます。



下部消化管検査（注腸検査）

お尻(肛門)からバリウムと空気を注入し大腸を観察する検査です。大腸の形や粘膜の状態を観察し病気がないか調べることができます。



嚥下造影

バリウムを混ぜた食べ物を飲み込む際の様子を観察する検査です。嚥下運動の評価や有無・飲み込んだ食べ物の通過の状態を調べることができます。



内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)

内視鏡と X 線 TV 装置を併用し、造影剤を使って胆嚢や胆管、膵管を調べます。またこの検査では胆管結石を取り除くことや、炎症や腫瘍などにより詰まった胆汁を排出させる治療を行うことができます。



その他の検査

- ・ 脊椎ミエロ造影
 - ・ 点滴静注腎盂造影(DIP)
 - ・ 神経根ブロック
 - ・ 子宮卵管造影(HSG)
 - ・ 腰椎穿刺
 - ・ 経皮経肝胆嚢ドレナージ(PTGBD)
 - ・ 膀胱造影 (CG)
 - ・ 経皮経肝胆管ドレナージ(PTCD)
 - ・ 排尿時膀胱造影(VCG)
- 等